

## 21世紀の日本のかたち（9）

### --- 北京オリンピックにみる国のかたち ---



戸沼幸市

< (財)日本開発構想研究所 理事長 >

#### 1. 北京オリンピック

2008年の夏は北京オリンピックに世界が沸いた。私も家人と夜中まで茶の間のテレビで世界のトップアスリート達の肉体の躍動に魅了された。

21世紀初頭、204の国と地域からの現人類一  
女（人）、男（人）、黒人、黄人、白人の選ばれた  
肉体の極限の競い合いは、地球の夏の祭典をおお  
いに盛り上げた。

それにしても、ボルト（ジャマイカ）が100m  
を9秒69と、いとも簡単に世界新で走り抜けたの  
には驚いた。

日本育ちのマラソンランナーのワンジル（ケニ  
ア）が新装なった北京の街を2時間6分32秒のオ  
リンピックレコードで快走したのも見事であった。

つい、日本びいきになり、日本人選手の活躍に  
一喜一憂したが、北島康介が期待通りに競泳100  
m、200mの平泳ぎで金2個とは見事であった。

日本選手の活躍の中で、女人の頑張りは印象深  
いものがあつた。“なでしこジャパン”のサッカー、  
4位は善戦だし、ソフトボールの上野由岐子の鉄  
腕でもぎ取った金はまさに値千金である。

メダルの数は、中国が金51メダル数（100）、ア  
メリカ36（110）、ロシア23（72）、イギリス19（47）、  
ドイツ16（41）、豪州14（46）、韓国13（31）。こ  
れに続いて、日本の金9、銀6、銅10、計25はま

ずまずではなかろうか。

13億人の巨大人口国、中国（面積960万km<sup>2</sup>）は  
なにしろ母数がまるで違っている。（同じ巨大人口  
国のインドは金1とオリンピックにはあまり関心  
がないらしい。）

小さな国では国別対抗戦など、土台無理な話し  
であるのだが、この中でカリブの小国ジャマイカ  
（面積1.1万km<sup>2</sup>、人口250万人）が金6とは、人  
口比でいえば断トツの1位である。アメリカはメ  
ダル獲得数1位で、やはり強い。アメリカの強み  
は人口の多さ（3億人近い）もあるが黒人系など、  
人種を越え人を集め、あるいは集まってきてその  
中の最強の人選である。

北京オリンピックは、中国のダイナミックな国  
のかたちを存分に表現していたように感じられる。

まず、胡錦濤中国国家主席の各国首脳を招いて  
の「同一個世界（一つになった世界）、同一個夢想  
（一つになった夢）」をオリンピックのテーマに掲  
げての鳥の巣の開催式。一糸乱れぬマスゲームの  
展開は国威をかけた中国ならではのものであろう。  
中国5,000年の歴史、中世界の文明史には欧米も  
どの国も恐れ入るほかはない。

漢字、紙、印刷、羅針盤と「国」を支える情報  
インフラを世界に先駆けて創っていたのだと絵巻  
で見せて、歌、音楽、踊りと目一杯のサービスを

してくれた。「有朋自遠方来 不亦樂乎」－「朋有り遠方より来たる 亦樂しからずや」である。

アテネからの聖火リレーも、ともかく北京にたどりつき、鳥の巣の中空にしつらえられた縄文模様様の聖火台に、孫悟空もどきが空を飛んで点火して、オリンピックゲームが開幕したのであった。

圧倒的な 5,000 年の歴史とハイテクの未来をつなごうとするところに、チャン・イーモー(張芸謀)演出の苦心が読み取れる。

中国が北京オリンピックを無事終えたことを喜びたい。聖火リレーの道中、世界のメディアが暴き出す人権問題、地方農村と都市格差も桁外れであろう。チベットなどの民族問題もある。

土地の広さ、人口の多さなど、中国が一つの国家にまとまっていること自体、奇跡に近い。しかしこれがまとまって進むとしたら、経済的にもアメリカの落ち込みもあり、やがて世界一になることであろう。

## 2. 東京オリンピックでは？

2016年のオリンピック開催に東京が名乗りをあげている。先日、官房長官が政府も応援するけれど、日本はもっとメダルを取って貰わねばとテレビで話していた。

確かに、主催国日本の金メダルが一桁では国家の格好がつかないかもしれない。とするならば、アメリカ流に、有力選手を他国から移籍してもらおうほかないのではないか。マラソンならばケニア

から、卓球ならば中国からとか。女子サッカーの“なでしこジャパン”に、ブラジル、ドイツあたりの女子選手を引き抜くのも21世紀的ではないか。なにしろ21世紀の日本は、人口減少の超少子高齢化時代に入っている。全体の体力が落ちている。情報化社会とか、若者の肉体から野性味が消えている。

さて、開会式ではどんなテーマでどのような演出をするか。

日本絵巻を 2,000 年で観せるか。国境の無かった1万年で観せるか。洋風、中国風に対して「和風」はどこまで通用するか。

世界最初の被爆国日本として原爆全廃を訴えるのは平和とスポーツの祭典には場違いか。

人間、体力がエネルギーの源泉であることを想起して、自然力、人力で動いた江戸風に、オリンピックの期間中、巨大マシン東京をノーマイカーにしたり、一人一本の植樹をしたりと、省エネ、エコポリスを実現し、21世紀地球環境問題に切り込むというのはどうであろうか。

北京オリンピックの中国式マスゲームの閉会式に、次期2012年開催都市ロンドンが市民を乗せて赤い2階建てバスでやってきて、五輪旗を受け取っていた。ロンドンは普段着でやるらしい。

北京オリンピックは私にとっても、21世紀の国のかたちを想像しつつの熱い夏であった。

(2008年9月15日)



資料：北京オリンピック公式ホームページ



資料：東京オリンピック・パラリンピック招致委員会ホームページ